

国語科学習指導案

日時 令和 3年 9月14日 (火) 3校時
 児童 豊沼小学校 1年1組17名 3組1名
 指導者 1組 大津留あい 3組 久末浩平

1. 単元名「けんかした 山」(教育出版 1年)

2. 単元について

(1) 目標

○場面の様子を想像しながらお話を読む楽しさを味わう。

⇒語のまとまりや言葉の響きなどに気を付けて音読する。…知識・技能(1)エ

⇒場面の様子や登場人物の行動など、内容の大体を捉える。…思考・判断・表現 C(1)イ

⇒文章を読んで感じたことや分かったことを共有する。…思考・判断・表現 C(1)カ

(2) 単元の指導計画及び評価計画

全 9 時 間	学習活動	観 点			
		知 ・ 技	思 ・ 判 ・ 表	態 度	<評価>
					<振り返る活動の視点>
1	学習のゴールを知り、見通しをもつ			○	態度 物語に興味を持ち、すすんで感想を持ったり、発表したりしている。 ア①
2 〜 6 (6 .. 本 時)	読み取り・吹き出しづくり：山のことをもとに場面の様子を想像する。	○	○	・	知・技 語のまとまりや言葉の響きなどに気を付けて音読している。 思・判・表 場面の様子や登場人物の行動など、内容の大体をとらえている。 思・判・表 登場人物(山)の、付け足しの吹き出しを想像して、共有している。 ア② イ①②③
7	音読発表会の準備をする。	・		○	態度 音読発表会に向けて、すすんでめあてをたてたり、音読練習をしたりしている。 ア③ イ①
8	音読発表会をする。	○		○	知・技 付け足しの吹き出しを含め、語のまとまりや言葉の響きなどに気を付けて音読している。 態度 音読を発表したり、友だちの音読を聞き、よいところをみつけたりしている。 ア③ イ①
9	学習後の自己評価をする。			○	態度 単元全体の学習について、自分の言葉で、考えたことを発表したり、文章にまとめたりしようとしている。 ア① イ①②③

(3) 単元構成の工夫

音読発表会には、生活科「わくわくどきどきしょうがっこう」や「きせつとなかよし」でお世話になった学校教職員（可能であれば他学年児童も）を招待し、学級外からの評価による振り返りの機会をつくる。

3. 研究主題との関連

ア 振り返りの視点を明確にする : は特に検討をお願いしたい（別紙3）

<p>場 面</p>	<p>① 1・9時間目は、学習前・後の本質的な問い「『けんかした山』はどんなお話かな？」の交流、学習後の自己評価「『けんかした山』の がくしゅうをして、わかったこと・きづいたこと・おもったことを かきましよう。」をする。</p> <p>② 2～6時間目は、毎時間授業の最後に3つの項目「山のふきだしを想像して書けた」「ペアの友だちと上手に話し合えた」「吹き出しをつけて、ペアで音読できた」について3段階評価（◎○△）をし、記述で「今日の授業でわかったこと・思ったこと」を書く。</p> <p>③ 7・8時間目は、毎時間授業の最後に「音読発表会のめあてづくり」や「お客さんの評価（口頭）をもとにしためあてのふりかえり」を書く。</p>
<p>意図○ 工夫→</p>	<p>① 学習者も指導者も単元を通しての変容を見取れるようにする。 →本質的な問い：全体での口頭交流→紙黒板に教師が記入 自己評価：ワークシートに個人が記入</p> <p>② 学習内容に関する振り返りと、協働学習に関する振り返りができるようにする。振り返りだけでなくワークシート全体を学習履歴とする。 →ワークシートに振り返り欄を設ける。</p> <p>③ 子どもから生まれる学習課題を自ら振り返る機会を保障する。 →めあては全体交流。それを教師がワークシートにおこしたものを、発表会後の振り返り項目として3段階評価と自由記述にする。</p>

イ 有効的な振り返りの活用

<p>場 面</p>	<p>① 導入時に、掲示物で前時までの叙述と付け足した吹き出しを見ながらこれまでの学習を振り返る。（8時間目は前時にたてた「めあて」）</p> <p>② 課題確認場面で、振り返りの視点と前時までの児童の振り返り3段階の傾向を紹介する。</p> <p>③ 振り返り場面で、前時までの児童の記述を数名分紹介する。</p>
<p>意図○ 工夫→</p>	<p>① 前時までの学習を本時の読み取りにつなげるため。</p> <p>② 課題解決のゴールをはっきりさせるため。</p> <p>③ どのような振り返りが授業の一番大切なことに迫っているのか、児童がとらえやすくするため。 →①②③ともに、掲示物に記載してある状態とする。</p>

4. 本時について

(1) 本時の目標

- 場面の様子や登場人物の行動など、内容の大体をとらえ、すっかりみどりにつまれた山の、付け足しの吹き出しを想像して共有することができる。 **思・判・表**
- 語のまとまりや言葉の響きなどに気を付けて音読している。 **知・技**

(2) 本時の展開


	児童（生徒）の学習活動	教師の手立て	評価の規準・方法 留意点
<p>導 入 1 5 分</p>	<p>(1) 前時までの学習を振り返る。</p> <p>(2) 本時の場面を音読する。 絵を見て気づきを発表する。</p> <p>(3) 課題把握</p> <div style="border: 1px solid blue; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>すっかり みどりに つつまれた 山の ふきだしを かんがえて おんどくしよう。</p> </div>	<p>掲示物で前時までの叙述と 付け足した吹き出しを見せる。</p> <p>全員音読をさせる。文や絵 から気づくことを交流させ て、話の内容を確認する。 (全体確認は教師が書き込 む)</p> <p>ワークシート配布</p>	<p>イ① 前時までの学習を 本時の読み取りに つなげる。</p>
<p>展 開 2 0 分</p>	<p>吹き出しを書く部分を確認して青線を 引く。 「山はすっかりみどりにつまれま した。」</p> <p>(4) 課題解決</p> <p>個人思考</p> <ul style="list-style-type: none"> 自分の山（左・右）の気持ちを想像 して、吹き出しに書く。 <p>集団思考 ペアトーク</p> <ul style="list-style-type: none"> 吹き出しをペア内で発表する。 ペアで吹き出しについて話し合う。 →お互いのものが、叙述の流れに 合っているか、本当に山の気持 ちをセリフとして表現できてい るか確認し、必要があれば訂正 や書き加えをする。 <p>・ペアで話し合っって作った吹き出しを付 け足して、場面のはじめから音読してみ る。</p> <p>集団思考 全体</p> <p>代表で、いくつかのペアは全体の前で発 表する。</p> <p>他のペアの音読を聞いて、良さを見つけ 合う。</p>	<p>教師も青線を引く。</p> <p>自分が書けたら声をかけあ って、ペア学習を始めるよ うに伝えてから始めさせ る。</p> <p>話し合いシートに沿って、 話し合わせる。</p> <p>山のかぶりものを準備す る。</p> <p>場面の様子が想像できる吹 き出しになっているかを聞 く。</p> <p>他のペアの良いところを受 けて発表に生かすようにす ることを伝える</p>	<p>イ②振り返りの視 点と、前時までの児 童の振り返り 3 段 階の傾向を紹介す る。</p> <p>【評価の観点】 ＜評価方法＞ 観察・ワークシート ＜評価規準＞ 場面の様子や人物 の行動・様子を中心 に読み、吹き出しを 想像して書き、共有 し、音読している。</p>

終 末 1 0 分	<p>(5) 本時の振り返り</p> <p>自己評価</p> <ul style="list-style-type: none"> ・山の吹き出しを想像して書けた。(学習) ・ペアの友だちと上手に話し合えた。(協働) ・吹き出しをつけて、ペアで音読できた。(学習・協働) <p>記述</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今日の授業でわかったこと・おもったこと 	イ③前時までの児童の記述を数名分紹介する。
-----------------------	---	-----------------------

(3) 本時の評価

- 場面の様子や登場人物の行動など、内容の大体をとらえ、すっかりみどりにつまれた山の、付け足しの吹き出しを想像して共有することができた。**思・判・表**
- 語のまとまりや言葉の響きなどに気を付けて音読していた。**知・技**

5. 板書計画…ワークシート拡大 (模造紙)



すっかり みどりに つつまれた 山 の ふきだしを かんがえて おんどくしよう。

PI03

けんかした 山

あんど う みきお ぶん

かすや まさひろ え

ふりかえり【◎○△】	<p>山のふきだしを そうぞうしてか けた。</p> <p>ペアのともだちと じょうずに はなしあえた。</p> <p>ふきだしをつけて、ペアで おんどくできた。</p> <p>きょうの じゅぎょうで わかったこと・ おもったことを かきましょう。</p> <p>・山たちが なかよくなって よかった。 ・どうぶつたちも よろこんでいると おも う。(みんななじあわせの)</p> <p>・いちど もえちやうと みどりになるの に、ながいじかんが かかる。</p> <p>・○○さんとうむのが たのしかった。</p>	<p>山は、</p> <p>一ねん、二ねん、 三ねん たちました。 なんねんも なんねんも たちました。</p>
------------	--	--

・どうぶつたち、みんなの すむ もりが
できました。かえってきー。

・たしよさん、くもさん、まごこんで
いるみたい。

・みんなで しあわせに くわい。

ひだりの 山

・もう ぼくたち すとながよしたよ、ひだ
りの山さん。

・まや くまが たくさはそきて きもち
いいな。

・にこにこが いちほんだね。

みぎの 山

6. 本時の資料

- ・ワークシート (「振り返り」欄を含む)・・・別紙1—①・②・③
- ・協働学習の手立て:「話し合いシート」「はんのう名人」・・・別紙2

参考:「小学校国語科振り返り指導アイデア」細川太輔・成家雅史 編著 明治図書 2019
「豊沼小学校 2020年度研究紀要」
「一枚ポートフォリオ評価 OPPA」堀哲夫 東洋館出版社
「【振り返り指導】の基礎知識」著梶浦真 監修小林和雄 教育報道出版社 2020
「【振り返り指導】入門」梶浦真 著 教育報道出版社 2021